



前川東小だより

～ 地域とともに ～

川口市立前川東小学校
令和7年12月号

学校教育目標

- ・よく考える子
- ・心豊かな子
- ・健康な子

自分を大切に みんなを大切に

校長 小野寺 啓太

あっという間に12月を迎え、寒さも一段と厳しさを増してきました。寒暖の差が著しく、風邪などで体調を崩す子供たちが増えています。学校では、こまめな手洗いとうがいの励行、室内の換気を行っています。引き続き、ご家庭でも子供たちの体調管理にご留意をお願いします。

朝、元気よく「おはようございます」とあいさつを交わしてくれる子供たちからたくさん元気もらっています。5月の学校だよりでもお伝えしましたが、本校の児童はよくあいさつをしてくれます。あいさつは世界共通のコミュニケーションツールで、あいさつすることで自分も幸せな気持ちになります。また、人と人とを優しくつなぐ魔法の言葉です。今後も、あいさつの大切さについて、ご家庭と地域、学校が協力して子供たちにしっかりと伝えていければと思います。

昭和23年(1948年)12月10日、パリで開催された第3回国際連合総会において、すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、人権を国際的に保障するための目標と基準を初めて示した画期的な文書として、人権の歴史において非常に重要な位置を占めています。そこで、12月10日を「世界人権デー (Human Rights Day)」と定め、日本では、人権デー最終日とする1週間(12月4日～12月10日)を「人権週間」と定め、昭和24年(1949年)から毎年、各関係機関や団体が協力して、全国的に人権啓発活動を特に強化して行っています。

人権とは「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持つ権利」として、「世界中の誰もが、差別やいじめや仲間はずれのないように、安心して幸せに毎日を過ごすことができること」です。人は誰かから大切にされるからこそ、自分で自分を大切にできるようになり、自分を大切にできるからこそ、他の人をも大切にできるものです。現在、世界的に、差別やいじめだけでなくSNS等においてルールやモラルを守らず、人を傷つけるといった人権問題は私たちの生活に身近な問題となって存在しています。人権を自分ごととして捉え、互いに認め合い、互いの人権を守り、尊重し合うという認識を日頃から深めていくことが大切です。

少し早いですが、今年1年、保護者の皆様、地域の皆様にたいへんお世話になり心より感謝申し上げます。どうぞよい年をお迎えください。そして、新しい年が皆様にとりまして、素晴らしい年でありますよう心からお祈り申し上げます。